

2002年8月13日

# 緊急県民世論調査 新しい知事像を探る

## 報告書

(2002年8月11日～12日調査)

調査の設計	1
結果の概要	3
単純集計	5
質問票	7



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610  
<http://www.nagano-yoron.or.jp>

# 調査の設計

## 調査の目的

7月5日の定例県議会で、不信任案可決により失職した田中知事は「単独知事選」を選択した。脱ダム宣言を筆頭に、公共事業や教育の見直し、産業振興への試みなどのさまざまな政策と、新たな手法で進めてきた“改革路線”は、在任わずか1年8ヵ月余りで、知事としての資質を含めて、県民の審判を受けることになった。

全国注視の中で8月15日告示、9月1日投票の知事選には、再挑戦する前知事を含めて、前新聞記者、元会社員、経営コンサルタント、弁護士らが立候補を表明し、かつてない混戦模様となっている。

告示を間近に控えて、これまでの田中県政・知事の実績を点検しつつ、県民が、そして時代が、いま求めているのは、どのような知事像なのか、緊急調査であらためて探る。

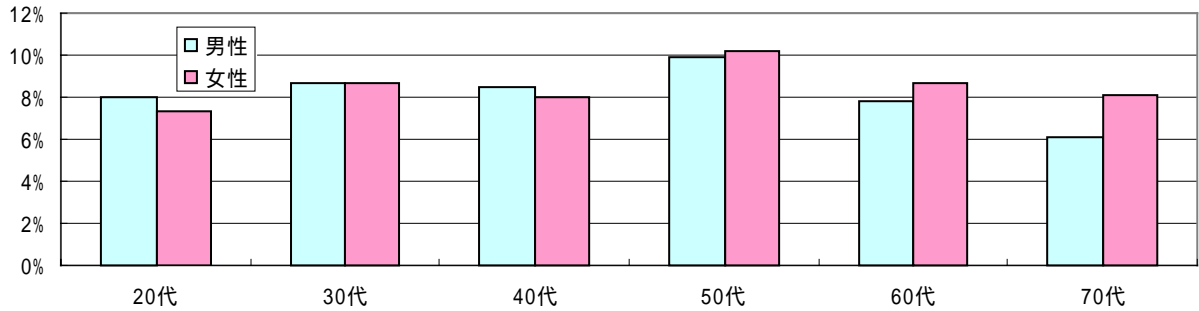
## 調査の設計

調査対象	長野県内に住む20歳以上の男女1000人
抽出方法	県内を東北中南の4地区に分け、さらに20～70代以上の6つの年代層・性に分割し、有権者数による比例配分で、各市・各郡の対象者数を設定。 NTTの電話帳から一定のルールにより、無作為抽出した世帯から、設定した年代・性の人を1人選んだ。
調査方法	電話
調査期間	2002年8月11日～12日
調査地点	17市21町13村
回答結果	1000人（男性490人 女性510人） ・総コール数9463回 ・不完了8463回（不在・該当なし45.0% 不出24.5% 拒否10.6% 留守電9.6%）

## 回収サンプルの内訳

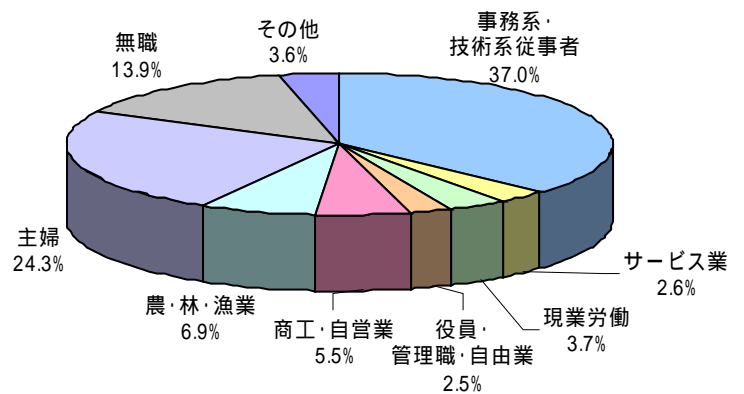
### 【性別と年代】

	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代
合計	1000	153	174	165	201	165	142
	100.0%	15.3%	17.4%	16.5%	20.1%	16.5%	14.2%
男性	490	80	87	85	99	78	61
	49.0%	8.0%	8.7%	8.5%	9.9%	7.8%	6.1%
女性	510	73	87	80	102	87	81
	51.0%	7.3%	8.7%	8.0%	10.2%	8.7%	8.1%



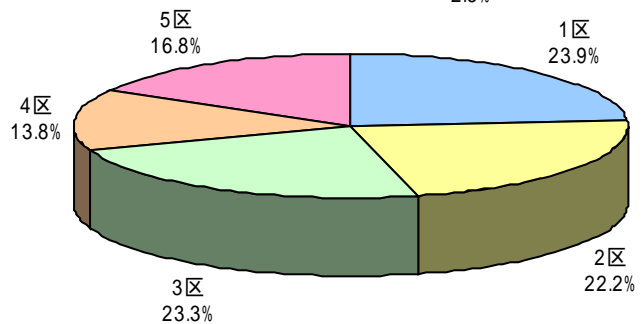
### 【職業】

事務系・技術系従事者	370	37.0%
サービス業	26	2.6%
現業労働	37	3.7%
役員・管理職・自由業	25	2.5%
商工・自営業	55	5.5%
農・林・漁業	69	6.9%
主婦	243	24.3%
無職	139	13.9%
その他	36	3.6%



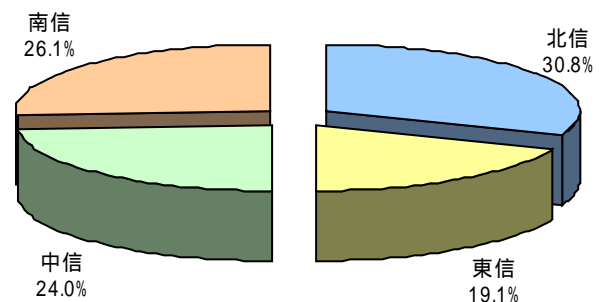
### 【選挙区】

1区	239	23.9%
2区	222	22.2%
3区	233	23.3%
4区	138	13.8%
5区	168	16.8%



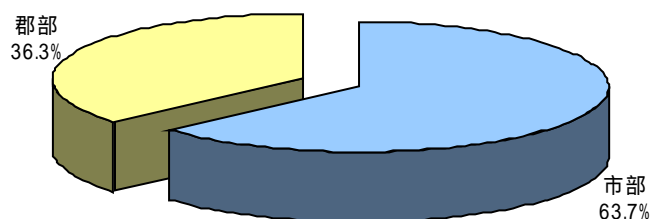
### 【地域】

北信	308	30.8%
東信	191	19.1%
中信	240	24.0%
南信	261	26.1%



### 【市郡】

市部	637	63.7%
郡部	363	36.3%



## 結果の概要

### 前の田中県政の評価

在任1年8カ月余りで果たした役割は「長野県のためによかった」という肯定的評価が68%、否定的な受けとめは23%。これは7月初旬、県議会の田中知事に対する不信任案可決直後の協会調査の田中県政支持率にほぼ相応する。

男女別の評価ではほとんど違いはみられないが、年代層では「よかった」が20～40代で7割を突破し、高齢層とは10ポイント以上の開きがある。

政党支持層では、「よかった」が共産党で97%の高率、無党派層も平均値を上回る。対照的に、自民党では51%と厳しく、民主党でも平均値を下回る。

### 県政改革の理念と手法

田中県政が掲げた理念と手法をめぐり、さまざまな論議が交わされてきた。まず「理念はわかるが、手法、実行力には疑問がある」といった、どちらかといえば否定的な立場からの指摘には、60%が「そう思う」。35%が否定的だった。

「県政を改革するには、多少の混乱は仕方がない」という、どちらかといえば肯定的な立場からの指摘には「そう思う」が87%にのぼった。「そうは思わない」は11%。

また、対決場面を繰り返してきた田中県政・知事と県議会多数派の関係については「双方がよく話し合い、歩み寄るべきだった」という見方が6割台の多数を占めた。他方で「県会議員が協力的であるべきだった」が2割、「前知事が理解を得る努力をすべきだった」が1割というコントラストも。

### 田中県政の施策取り組みの評価

先の県議会で攻防の焦点になったダム建設中止の代替治水対策で「取りくみは評価できる」が6割台を示し、もうひとつの論点である県財政の立て直しや公共事業見直しに伴う振興対策でも、肯定的評価が半数を超えた。

その半面で、県独自の不況・雇用の対策には「評価できない」が半数を突破したほか、産業の振興・育成にも不満感の方が上回った。

### 新しい知事に望む立場・姿勢

#### A リーダーシップの発揮の仕方

「全体の調整や行政の手法を基に、組織の力を生かしていくタイプ」と「自分の理念や個性を前面に出して、引っ張っていくタイプ」を対比させた中で、前者の“組織・調整型”への共感が半数を超えた。しかし、後者の“トップダウン型”にも4割強の支持があった。

## B 県外に向けて

「知事の人脈や有識者のアイデアを生かし、長野をアピールする」という、知事の“個人カラー”発揮への期待が5割半ば。「国会議員や中央省庁との結びつきを通じて、長野県の立場を強める」という従来型の手法には、3割台の共感があった。

## C 公務に取り組む姿勢

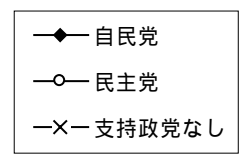
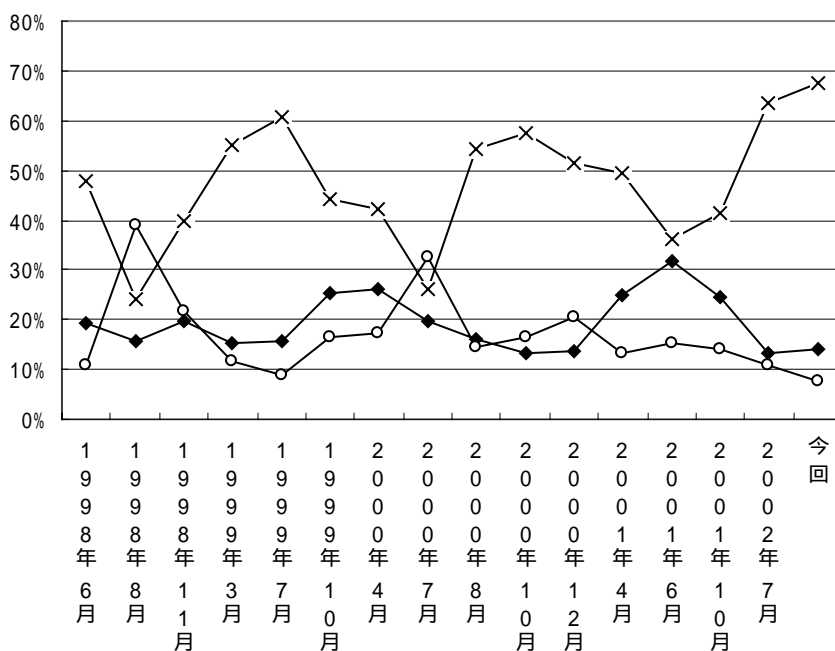
知事の役割を果たしていくうえで「公務と個人のことをはっきり区別する」姿勢には6割強が要望。「公務と個人のことを越えて」臨むというスタンスには、3割半ばが肯定的だった。

### 政党支持

今回の知事選では、大半の政党が候補の支援を見送るという異例の展開が予想される。そうした“影の薄さ”が政党支持状況に如実に現れ、過去4年間で最高だった政党支持なし層が67.6%と、1カ月前の調査よりもさらに膨れ上がった。

支持率を残りの30%余りで分け合うかたちの各政党は、自民党がトップの13.9%で微増、民主党は下降して7.5%で、両党の差は再び開いた。民主党は唯一首位だった3区でも、自民党に逆転された。3位は引き続き共産党で、社民党、公明党、自由党、保守党の順で、前回と同様の順位だった。

< 自民党・民主党・支持政党なしの推移 >



< これまでの調査時点 >

- 1998年 6月 参院選1カ月前
- 1998年 8月 参院選直後・小渕内閣発足
- 1998年11月 自自連立合意
- 1999年 3月 統一地方選前
- 1999年 7月 日の丸・君が代法制化
- 1999年10月 21世紀に向けた県政の課題
- 2000年 4月 森内閣発足
- 2000年 7月 衆院選直後
- 2000年 8月 知事選告示1カ月前
- 2000年10月 知事選直後
- 2000年12月 第2次森改造内閣発足
- 2001年 4月 小泉内閣発足
- 2001年 6月 参院選1カ月前
- 2001年10月 田中県政1周年
- 2002年 7月 田中知事不信任

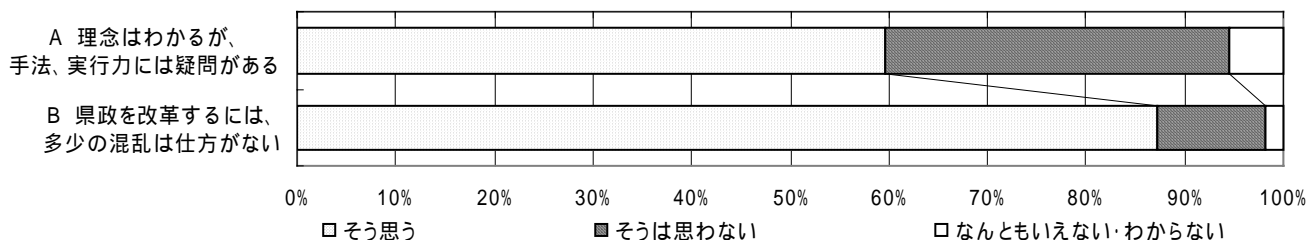
## 単純集計

### 田中前知事と県議会「歩み寄るべきだった」67%

問1 前の田中県政・知事に対して、多くの県会議員は批判的、ないしは疑問を示し、不信任の事態になりましたが、両者の関係についてあなたはどのように思っていましたか		
双方がよく話し合い、歩み寄るべきだった	670	67.0%
県会議員はもっと前知事に協力的であるべきだった	207	20.7%
前知事はもっと県会議員の理解を得る努力をすべきだった	107	10.7%
なんともいえない・わからない	16	1.6%

### 「県政改革には多少の混乱も」9割近くが肯定

問2 前の田中県政に対する次のような指摘についてあなたはどのように思いますか		
<b>A 理念はわかるが、手法、実行力には疑問がある</b>		
そう思う	596	59.6%
そうは思わない	350	35.0%
なんともいえない・わからない	54	5.4%
<b>B 県政を改革するには、多少の混乱は仕方がない</b>		
そう思う	873	87.3%
そうは思わない	108	10.8%
なんともいえない・わからない	19	1.9%



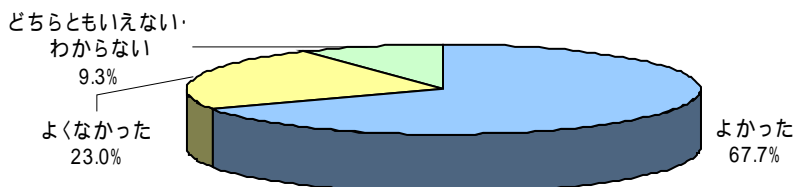
### 脱ダム代替策「取りくみ評価」6割強 不況・雇用策には厳しく

問3 前の田中県政の各分野の施策の取りくみについて、あなたはどのように受けとめていますか		
<b>A ダム建設中止に変わる治水対策</b>		
取りくみは評価できる	622	62.2%
取りくみは評価できない	283	28.3%
なんともいえない・わからない	95	9.5%
<b>B 県財政の立て直し</b>		
取りくみは評価できる	531	53.1%
取りくみは評価できない	327	32.7%
なんともいえない・わからない	142	14.2%
<b>C 県独自の不況・雇用の対策</b>		
取りくみは評価できる	283	28.3%
取りくみは評価できない	548	54.8%
なんともいえない・わからない	169	16.9%
<b>D 公共事業見直しに伴う振興対策</b>		
取りくみは評価できる	501	50.1%
取りくみは評価できない	367	36.7%
なんともいえない・わからない	132	13.2%
<b>E 産業の振興・育成</b>		
取りくみは評価できる	364	36.4%
取りくみは評価できない	446	44.6%
なんともいえない・わからない	190	19.0%

## 前の田中県政「長野県のためによかった」7割に迫る

問4 前の田中県政が1年8ヶ月あまり果たした役割は、全般的に見て長野県のためによかったかどうか、あなたの受けとめはどちらですか

よかった	677	67.7%
よくなかった	230	23.0%
どちらともいえない・わからない	93	9.3%



## 新知事は「公務と私事の区別はっきり」6割突破

問5 あなたは、新知事にどのような立場や姿勢であってほしいですか

<b>A リーダーシップについて</b>		
全体の調整や行政の手法を基に、組織の力を生かしていくタイプ	542	54.2%
自分の理念や個性を前面に押し出して、引っ張っていくタイプ	416	41.6%
なんともいえない・わからない	42	4.2%
<b>B 県外との関係について</b>		
知事の人脈や有識者のアイデアを生かし、長野をアピールする	552	55.2%
国会議員や中央省庁との結びつきを通じて、長野県の立場を強める	371	37.1%
なんともいえない・わからない	77	7.7%
<b>C 公務の姿勢</b>		
公務と個人のことははっきり区別して、知事の役割を果たす	616	61.6%
公務と個人のことを越えて、全体として知事の役割を果たす	347	34.7%
なんともいえない・わからない	37	3.7%

## パートナーとして市町村長との協力「期待する」8割超す

<b>A 地方行政のパートナーとして、市町村長と協力し合う</b>		
期待する	844	84.4%
あまり期待しない	134	13.4%
なんともいえない・わからない	22	2.2%
<b>B 企業や民間団体(NPO=非営利の活動組織など)の民間活力を取り入れる</b>		
期待する	849	84.9%
あまり期待しない	121	12.1%
なんともいえない・わからない	30	3.0%
<b>C 女性の公職起用を進めたり、活動分野を広げる</b>		
期待する	830	83.0%
あまり期待しない	147	14.7%
なんともいえない・わからない	23	2.3%

自民13.9% 民主7.5% 無党派層67.6%

問7 どの政党を支持していますか

自民党	139	13.9%
民主党	75	7.5%
共産党	35	3.5%
社民党	32	3.2%
公明党	20	2.0%
自由党	10	1.0%
保守党	0	0.0%
その他の政党	4	0.4%
支持する政党はない	676	67.6%
答えたくない	9	0.9%

# 質問票

## 緊急県民世論調査「新しい知事像を探る」

読み上げない

問1 前の田中県政・知事に対して、多くの県会議員は批判的、ないしは疑問を示し、不信任の事態になりましたが、両者の関係について、あなたはどう思っていましたか。

- 前知事はもっと県会議員の理解を得る努力をすべきだった
- 県会議員はもっと前知事に協力的であるべきだった
- 双方がよく話し合い、歩み寄るべきだった
- なんともいえない・わからない

問2 前の田中県政に対する次のような指摘についてあなたはどのように思いますか。

- A 理念はわかるが、手法や実行力には疑問がある
  - そう思う
  - そうは思わない
- B 県政を改革するには、多少の混乱は仕方がない
  - そう思う
  - そうは思わない

問3 前の田中県政の各分野の施策の取りくみについて、あなたはどのように受けとめていますか。

- A ダム建設中止に代わる治水対策
  - 取りくみは評価できる
  - 取りくみは評価できない
- B 県財政の立て直し
  - 取りくみは評価できる
  - 取りくみは評価できない
- C 県独自の不況・雇用の対策
  - 取りくみは評価できる
  - 取りくみは評価できない
- D 公共事業見直しに伴う振興対策
  - 取りくみは評価できる
  - 取りくみは評価できない
- E 産業の振興・育成
  - 取りくみは評価できる
  - 取りくみは評価できない

問4 前の田中県政が1年8カ月余り果たした役割は、全般的にみて長野県のためによかったかどうか、あなたの受けとめはどちらですか。

- よかった
- よくなかった
- どちらともいえない・わからない

問5 あなたは、新知事にはどのような立場や姿勢であってほしいですか。

- A リーダーシップ
  - 自分の理念や個性を前面に押し出して、引っ張っていくタイプ
  - 全体の調整や行政の手法を基に、組織の力を生かしていくタイプ
  - なんともいえない・わからない
- B 県外との関係
  - 国会議員や中央省庁との結び付きを通じて、長野県の立場を強める
  - 知事の人脈や有識者のアイデアを生かし、長野をアピールする
  - なんともいえない・わからない
- C 公務の姿勢
  - 公務と個人のことをはっきり区別して、知事の役割を果たす
  - 公務と個人のことを超えて、全体として知事の役割を果たす
  - なんともいえない・わからない



問6 あなたは、新知事の県政の取り組みでは、どのようなことに積極的であってほしいですか。

- A 地方行政のパートナーとして、市町村長と協力し合う  
期待する  なんともいえない・わからない   
あまり期待しない
- B 企業や民間団体（NPO＝非営利の活動組織など）の民間活力を取り入れる  
期待する  なんともいえない・わからない   
あまり期待しない
- C 女性の公職起用を進めたり、活動分野を広げる  
期待する  なんともいえない・わからない   
あまり期待しない

問7 あなたは、どの政党を支持しますか。

- |     |        |           |
|-----|--------|-----------|
| 自民党 | 共産党    | 支持する政党はない |
| 民主党 | 社民党    | 答えたくない    |
| 公明党 | 保守党    |           |
| 自由党 | その他の政党 |           |

F1 性別                      男 性                      女 性

F2 年 代                      20代                      50代  
   30代                      60代  
   40代                      70代

F3 あなたの職業

- 事務系、技術系従事者（会社、官公庁、団体等の事務、技術職員、銀行員、  
   教員、技師、勤務医、看護婦、システムエンジニアなど）
- サービス業（商店員、飲食店員など）
- 現業労働（運転手、工員、雇用職人、建設作業員、集配人など）
- 役員・管理職・自由業（開業医、弁護士、会計士などを含む）
- 商工・自営業（商店主、飲食店主、町工場主、自営職人、理容・美容店主など）
- 農・林・漁業
- 主婦（内職、自営手伝いを含む）
- 無職
- その他（具体的に                      ）

F4 選挙区                      1区                      4区  
   2区                      5区  
   3区

F5 地 域                      北信                      中信  
   東信                      南信

F6 市 郡                      市                      郡